

先輩のメロン栽培を見学

～箱石浜松林再生プロジェクト⑭～

6月30日（火）3・4時間目に箱石浜を訪れ、砂丘地農業のメリット・デメリットについて、京都府丹後農業改良普及センター専門幹 二木さん よりお話をお聞きしました。これまで水不足・飛砂の対策等、幾多の御苦勞を経て、砂丘地農業が発展してきたのだと思いを新たにしました。

その後、本校OBでもあり、メロン農家の家城和行さんより、メロン栽培の概要やハウスの見学をさせていただきました。メロン苗を子葉のうちに定植することやミツバチを入れて交配させ、着果を促進されること。きれいなネットにするために袋かけを行うことなどの御苦勞をお聞きしました。

今回も大変有意義な学習となりました。京都府・京丹後市、家城様を始め、お世話になった皆様、本当にありがとうございました。次回は7月4日（土）に松苗の除草ボランティアへ参加する予定です。この内容は、産経新聞、毎日新聞にも掲載されました。

